

なぜ？ 君は、住んでいる街のどこに消防署があり、いくつの消火栓があり、どのように機能しているか、知っているだろうか？



国や自治体が発表しているハザードマップを見たことがありますか？家でできる備え、学校でできること、街はどのように火災や天災に備えているのか？自分の足、目で確認し記録に残そう！

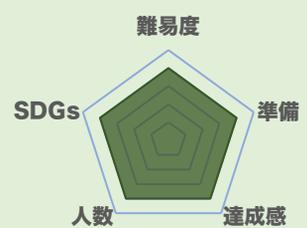
目的

- ◆ 消火栓マップを作成し、非常時に使える状態にあるかを調査する。
- ◆ 自分の街の防災の施設や広域避難所を確認する。



私たちの街の消火栓マップ！

- ◆ 活動地域の消火栓マップを作成する。
- ◆ 日常の消火栓の状態を観察・記録し、違法駐車や障害物などがないか記録を取る。



スカウト技能

- 読図
- 観察
- 記録
- 防災
- 安全
- ハイキング
- スケッチ
- 野外炊事

ゲーム性

- ◆ 制限時間内に一番近い消火栓を発見する観察ゲーム
- ◆ モーニングゲームでバケツリレー、水消火器で火消しゲーム

指導者へのヒント

- ◆ 消火栓マップの作成はハイキングを通して行いましょう。
- ◆ 指定した区域内の消火栓を発見し、地図に記録してみましょう。
- ◆ 消火栓の写真撮影し、班会議で消防車が来たときに問題がないかを話し合ってみましょう。

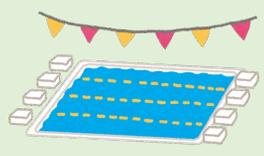


発展

地元の避難訓練に参加する。30人分の炊き出しを実施する。

防災

火災や震災は、いつおこるか予測できません。日ごろから意識して防災に努めましょう。学校のプールに年中水がある意味を知りましょう。



社会

地域の防災を知ることにより、減災につなげましょう。地域のお年寄りや身体の不自由な方と情報を共有できるとより効果的です。



ここに集まれ！

- 地震や火災が発生したときの避難所を確認しておく。



その時どう動く？

- 被災地で必要な物資を知る
- ファーストエイドスキルを身につける



防災バッグの中身は？

- 実際に災害時の持ち出しバッグを作り、実際に背負って歩いて避難所に行く



初動はぼくらが！

- 被災して3日間は、自分たちの手で地域を守れるようにシミュレーションする。

参考



班長訓練の取り組み方

- 訓練目標「読図」
- 技能章「消防章」課目4。「自宅付近半径100mにある消火栓、あるいは消火に利用できる池、川を地図上に記載すること」を達成するための技能指導。
- 技能章「消防章」課目5。「山火事の多い季節（月名）とその原因を知り、山火事の消し方について説明すること」についての技能指導。
- 2級章課目（1）ハイキング・読図②ア、イ、ウの技能指導
- 1/25000地形図を用いて、自宅周辺の1/1500の地図を作成する方法を学ぶ。
- 近隣で火事が発生した時にスカウトとして何ができるかを話し合う。
- 地域の防災マップ、ハザードマップの見方を指導する。



班集会の取り組み方

- 2級章課目（1）ハイキング・読図②ア、イ、ウの技能訓練。
- 1/25000地形図を用いて、集会場周辺の1/1500の地図を作成する方法を学ぶ。
- エリアごとに分けてそれぞれが作業できるように工夫する。
- 地域の防災マップやハザードマップを活用し、調査すべき場所を班で話し合う。
- 班ハイクにて集会場付近半径100mにある消火栓、消火に使用できる池を探索する。
- 見つけた消火栓などは、写真記録し消防車が来た時にすぐに対応できる状態であるかを調べる。
- 近隣で火事が発生した時にスカウトとして何ができるかを話し合う。

隊集会の取り組み方

想定文

地震災害は津波や建物崩壊、火災など甚大な被害をもたらします。この日本において地震はいつ、どこでも遭遇する可能性は十分にあります。スカウトとして、地震や自然災害が発生したときのために日頃からの準備は欠かせません。君たちは住んでいる地域の災害への対策について知っているだろうか？大規模火災や避難所への誘導に迅速に動くことができるだろうか。今日の隊集会は、副長が配布するエリアについて、消火栓の位置や普段の状況、避難所の場所と経路について調査して欲しい。

課題例

- 指定したエリアについて、消火栓、消火に使用できる池を探索する。見つけた消火栓などは、写真やスケッチで記録し消防車が来た時にすぐに対応できる状態であるかを調べる。
- 地域の防災マップを配布し、防災マップに示してある箇所についての状況確認を行う。
- 調査終了後に各班で発表を行う。

◆留意事項

- 防災、減災の取り組みは日ごろからの備えが必要であることを知らせる。
- 調べた内容についてスカウトとして何ができるかを考えさせる場面を作る。

